

ADBの概要

- ADBは67の加盟国・地域(うち48国・地域はアジア・太平洋地域)からなる国際開発金融機関です。
- ADBのビジョンは「貧困のないアジア・太平洋地域」です。
- ADBの使命は、開発途上加盟国が貧困を削減し、生活状況および生活の質を改善できるように支援することです。
- ADBの主なパートナーは、政府、民間セクター、NGO、開発機関、地域社会組織および基金です。
- ビジョンを達成するための主な手段は、融資、技術協力、グラント、保証、出資および政策対話です。公共セクターにおける対政府融資が融資の大半を占めますが、ADBは出資、保証と融資を通じて、開発途上国の民間企業に対しても直接支援を提供しています。ADBのトリプルAという高い信用格付けが開発のための資金動員に役立っています。
- 出資比率(2013年末現在): 出資比率によるADBの5大加盟国は、日本(15.7%)、米国(15.6%)、中国(6.5%)、インド(6.4%)およびオーストラリア(5.8%)です。23のADB加盟国はOECDにも加盟しており、ADBの応募済資本の64.6%を占めています。
- 第5次一般増資の応募は2009年に始まり、2012年1月に終了しました。

主要データ

主要データ

総裁:	中尾 武彦
本部所在地:	フィリピン、マニラ
創設年:	1966年
2013年末現在	
加盟国数:	67
域内加盟国数:	48
域外加盟国数:	19
現地事務所数:	32
職員数:	3,062
職員国籍数:	61

ADBの戦略

3つの中核目標

- インクルーシブな(全ての人々に恩恵が行き渡る)経済成長
- 環境的に持続可能な成長
- 地域統合と地域協力

目標達成の手段

- 民間セクター開発
- グッド・ガバナンスと能力育成
- ジェンダーの平等
- ナレッジ・ソリューション
- パートナーシップ

中核的専門分野

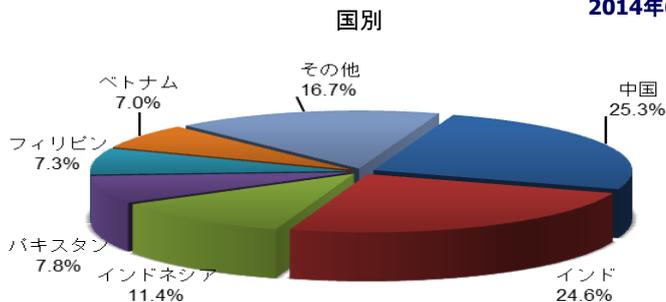
- インフラ
- 環境(気候変動を含む)
- 地域協力と地域統合
- 金融セクター開発
- 教育

アジアの貧困問題

- 世界の貧困層の3分の2がアジア・太平洋地域に居住
- 16億人が1日2ドル未満の生活費で生活
- 8億5,000万人が安全な飲料水を利用できない
- 20億人が近代的な衛生施設を利用できない
- 5歳未満の児童1億人以上が標準体重以下
- 20人の幼児のうち1人が5歳までに死亡

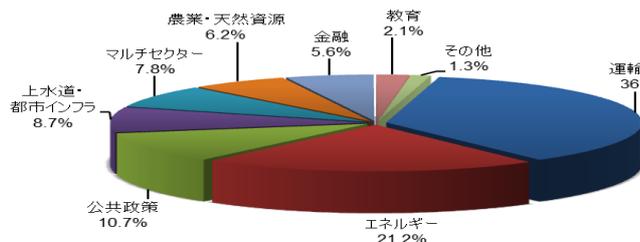
ADBの融資ポートフォリオ

発効済み融資残高¹
2014年6月30日現在



注: 端数処理のため合計が100%にならない場合がある。

セクター別



ICT = 情報通信技術

注: 端数処理のため合計が100%にならない場合がある。

¹ 通常資本財源(OCR)の発効済み融資残高は、総融資残高531億ドルに発効済み融資の未実行残高262億ドルを加えた793億ドル。



資金調達業務

借り手としてのADB

- ADBは国際市場及び国内市場におけるトリプルA格の主導的な債券発行体で、これまでに様々な市場において31通貨建ての債券を発行しています。
- 加盟国からの強い支持、堅実な財務内容と財務政策に基づく健全な信用基盤を反映し、ADBはスタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ、フィッチからトリプルAの格付を得ています。
 - 請求払い資本(2014年6月末現在で1,522億ドル)は借入金の返済に充てることができ、ADBの借入と保証の最終的な裏付けとなります。ADBはこれまで請求払い資本の実行を請求したことがありません。
 - ADBの融資の約94%はソブリン貸付です。ADBはソブリン融資の元本を失ったことはなく、債務の繰り延べには参加していません。
 - 融資実行残高、出資承認額およびADBが請求される保証の現在高総額の合計は、毀損していない応募済資本、準備金および剰余金(特別準備金を除く)の合計額を超えることはできません。
 - ADBの総借入残高は、非借入加盟国からの請求払い資本、払込資本および準備金(剰余金を含む)の合計額を超えることはできません。

貸借対照表(2014年6月末現在)

資産	負債・資本				
	単位:10億ドル	%	単位:10億ドル	%	
融資残高 ¹	53.2	45	借入	63.0	53
投資	25.3	21	自己資本	17.5	15
その他 ²	39.9	34	その他 ²	37.9	32
資産合計	118.4	100	負債・資本合計	118.4	100

¹貸倒引当金を除き、未償却の融資開始手数料(純額)を含む。

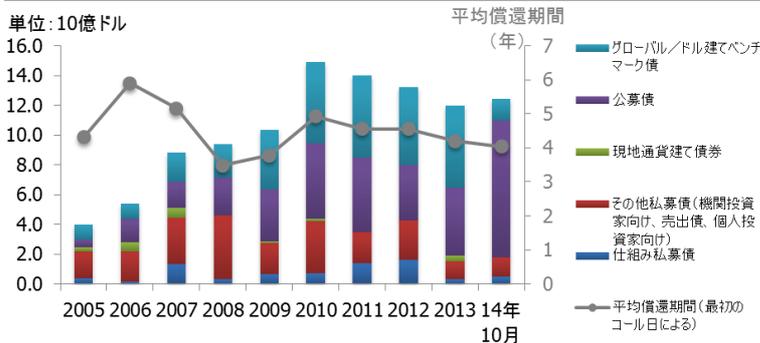
²主にスワップの未収金および未払い金。スワップからの未収金(純額)は12億ドル。

資金調達戦略

ADBの資金調達戦略は、様々な市場、金融商品および償還期間による借入を行うことによって、事業に必要な資金が利用可能となることを常に確保すると共に、投資家のニーズに対応することを目的としています。

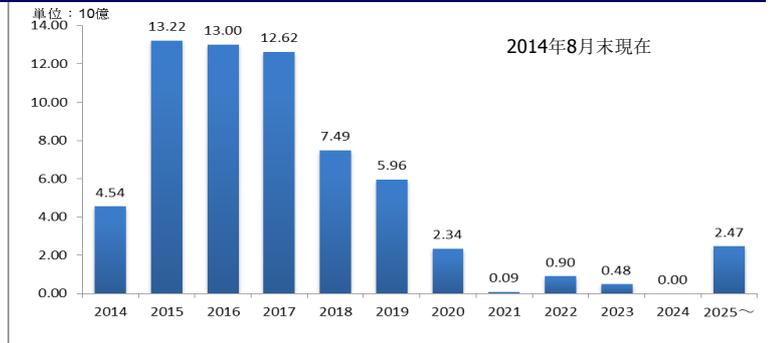
- ベンチマーク債の発行: ADBは少なくとも年1回の頻度で、10億米ドル以上の規模の起債を行っています(償還期間は3年、5年、7年または10年)。2014年、ADBは初めてユーロ建てのベンチマーク債を発行しました。
- その他公募債の発行: ADBは豪ドル、ブラジル・レアル、カナダドル、スイスフラン、ユーロ、英ポンド、日本円、ノルウェー・クローネ、ニュージーランド・ドル等の市場からも資金を調達しています。
- 現地通貨建て債券の発行: ADBは加盟国の国内資本市場の発展に努めています。ADBは国際機関として初めてオーストラリアでカンガルー債を発行したほか、中国、インド、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、台湾とタイの国内市場において、外国機関発行体として初めて債券を発行しました。
- 私募債: 通貨、規模、償還期間やストラクチャーを投資家のニーズに合わせて設定します。
- テーマ型債券: これらの債券は、水関連プログラムやクリーンエネルギー関連事業等の重要なイニシアティブを支援しようというADBの努力を反映するものです。

資金調達額



注: ユーロ・コマーシャル・ペーパー(ECP)を除く。2014年10月13日までの取引を全て含む。

償還期限別借入残高



注: 名目元本の金額に基づく。プットまたはコール・オプション付きの債券については、最初のプットまたはコール日を償還日とみなす。ユーロ・コマーシャル・ペーパー(ECP)を含む。

お問い合わせ

アジア開発銀行
財務局
資金調達課
6 ADB Avenue, Mandaluyong City
1550 Metro Manila, Philippines

ブルームバーグ ADB <GO>
メール capitalmarkets@adb.org
電話番号 +632 683-1204
Fax番号 +632 632-4120

ADBウェブサイト:
投資家ウェブサイト:
基金と財源:
年次報告:
アジア経済見通し:

www.adb.org
www.adb.org/site/investors/main
www.adb.org/site/funds/main
www.adb.org/documents/series/adb-annual-reports
www.adb.org/publications/series/asian-development-outlook

